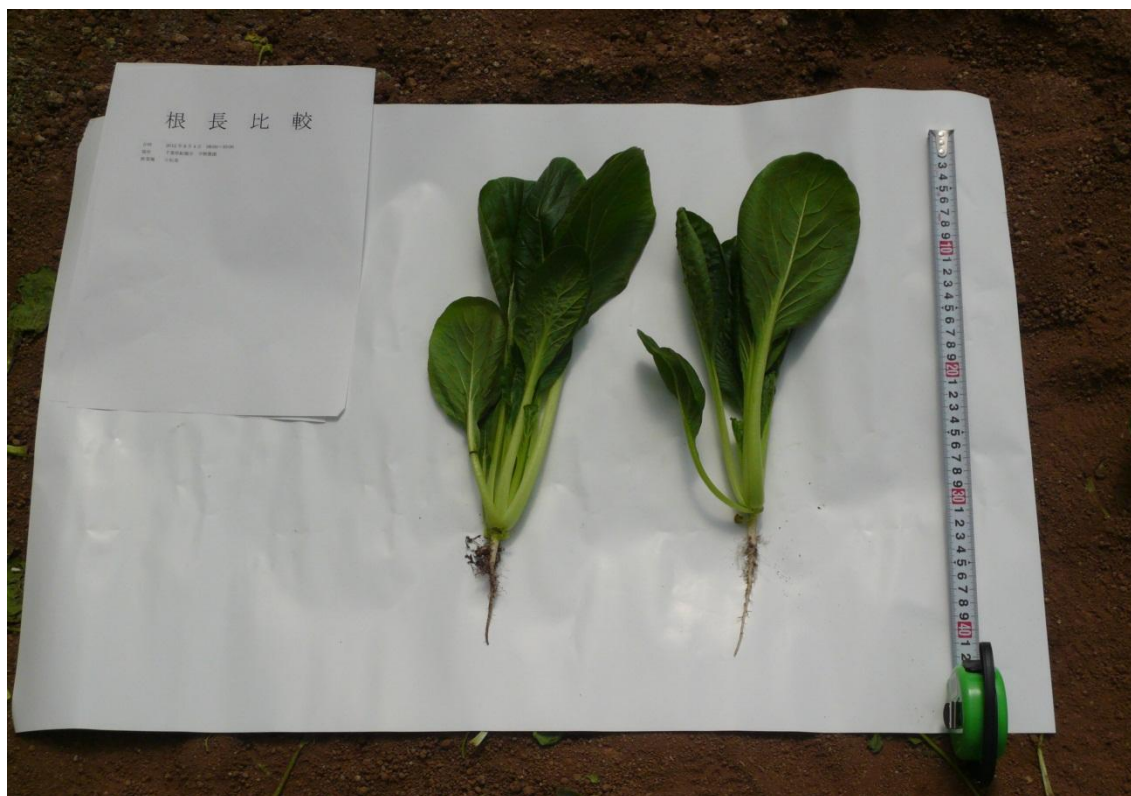


(1) 外観比較 (上段～環炭使用・下段～非使用)



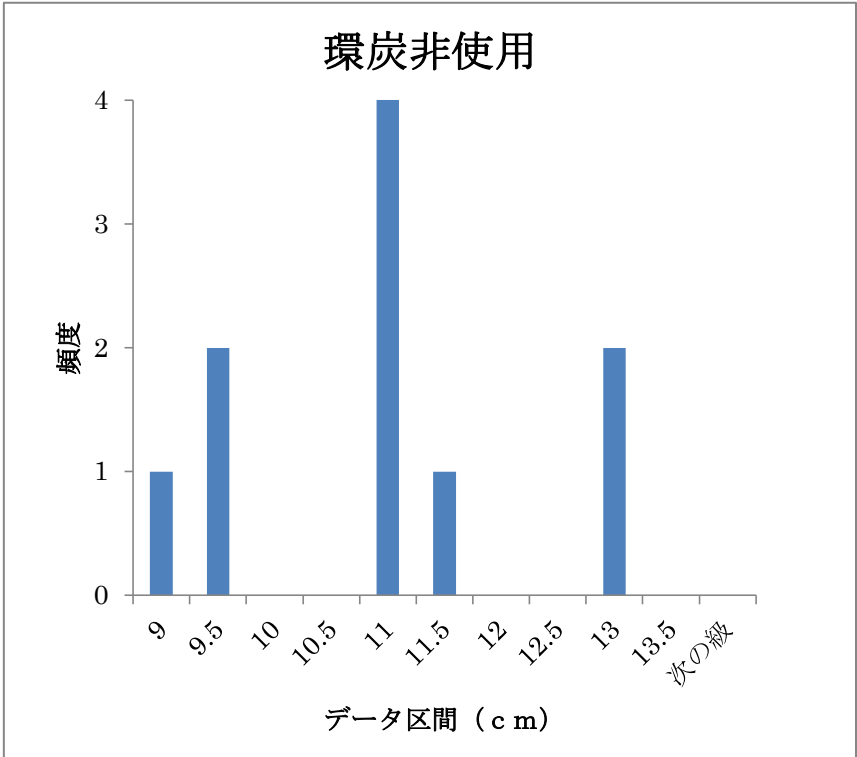
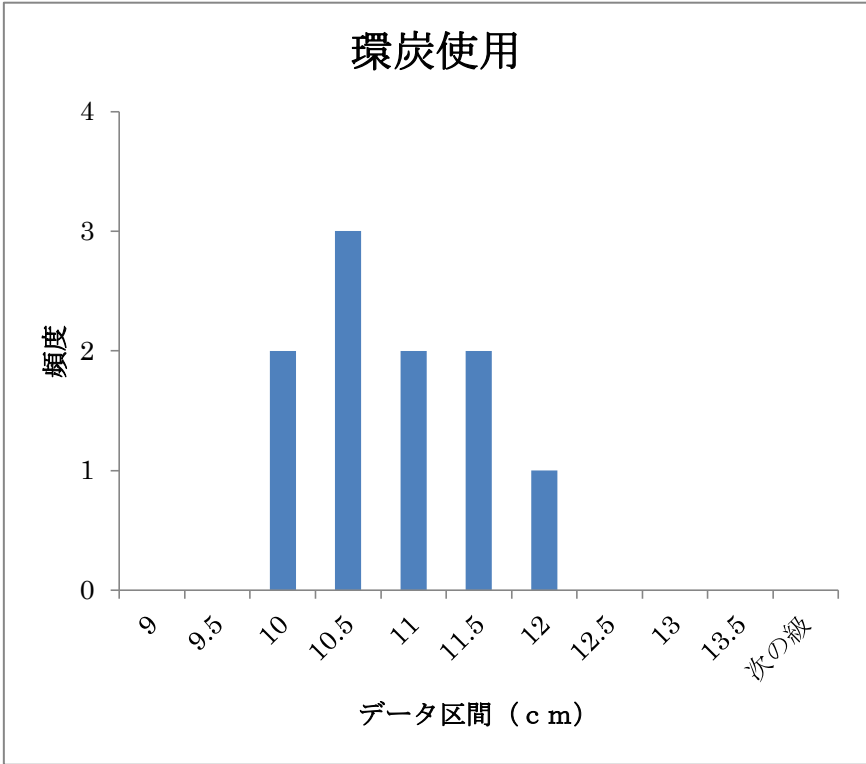
外観でも、使用エリアの小松菜の葉が大きめに育っているのが判ります。

(2) 根長比較 (単位cm) (左側～環炭使用・右側～非使用)



No.	環炭使用エリア	No.	環炭非使用エリア
1	10.5	a	11.0
2	12.0	b	9.5
3	11.0	c	11.0
4	10.5	d	11.0
5	11.5	e	9.5
6	11.5	f	8.0
7	11.0	g	13.0
8	10.5	h	11.5
9	10.0	i	13.0
10	10.0	j	11.0
平均	10.9	平均	10.9
標準 偏差	0.67	標準 偏差	1.55

上記データの通り、平均では顕著な差異を見出せませんが下記により分布状況をとらえると使用エリアの小松菜の根長が均一化していることが判ります。





(3) 重量比較 (単位 g) (左側～環炭使用・右側～非使用)



No.	環炭使用エリア	No.	環炭非使用エリア
1	40	a	75
2	35	b	40
3	45	c	30
4	55	d	50
5	75	e	50
6	50	f	55
7	45	g	40
8	50	h	40
9	50	i	20
10	75	j	35
平均	52.0	平均	43.5
標準 偏差	12.7	標準 偏差	14.3

上記データの通り、平均では使用エリアの小松菜の重量が重くなっています。

下記により分布状況をとらえると、使用エリアの重量が根長ほどではありませんが、均一化しているのが判ります。

